

1 事業名 令和2年度教育事業 「NEAL自然体験活動指導者（リーダー）養成研修(後期)」

2 趣旨

専門的な講師の指導の下、自然体験スキルを習得することで、ボランティアに必要な資質・能力を高めるとともに、NEALリーダーとして必要な知識・技術を身につける。

3 期日 令和2年7月4日（土）～7月5日（日）

4 参加者 高校生2名 大学生4名 社会人3名 計9名

6 内容

(1) 日程

7月4日（土）

9:30	10:00	10:30	12:00	13:00	14:30	15:00	18:00	18:30	19:30	22:30
受付	開会行事 ガイダンス	講義・演習 【自然体験活動の指導】	昼食・休憩	講義・演習 【対象者理解】	移動	フィールドワーク 【自然体験活動の特質】	移動・休憩	夕食	入浴・休憩	就寝

7月5日（日）

6:30	7:30	8:30	10:30	11:00	11:30		
起床	洗面・清掃	朝食・休憩	フィールドワーク 【自然体験活動の技術】	ガイダンス	認定試験	閉会行事	解散

(2) 指導者

滝沢里山研究会 事務局長	近藤 修三 氏
国立岩手山青少年交流の家 主任企画指導専門職	上村 佳邦
国立岩手山青少年交流の家 企画指導専門職付	杉本 守
国立岩手山青少年交流の家 事業推進係	日比野功宜
国立岩手山青少年交流の家 事業推進係	中島 理佐

(3) 企画のポイント

昨年度は自然体験活動の特質において、当所の職員が所内の自然環境についての講義を行っていたが、今年度はより一層地域の自然体験活動の特色の理解を深めるため、岩手山麓の自然環境に造詣の深い滝沢里山研究会の事務局長の近藤氏を招聘し、森林造成の意図（景観と収益）についてご講義いただいた。またその他の講義では、当所での実際の指導場面を想定した内容を盛り込み、当所でのボランティア活動にも繋がりを果たせることとした。

(4) 広報のポイント

年度初めにチラシを作成し、近隣の青少年教育施設や教育事務所に送付をした。また当所の法人ボランティアにはスキルアップの意味も込めて広報を行い、参加者を募った。結果、人数は少数ではあったが、高校生から社会人まで幅広い層の参加者を獲得することが出来た。

(5) 運営のポイント

日常ではあまり出来ないような体験を提供することを心掛け、講義から宿泊、試験まで南部曲り家での実施とした。また、自然体験活動の特質では、滝沢里山研究会に赴き、雨具を身に付けながら森林散策を行い、所外での活動も取り入れることが出来た。その他の講義は、当所の職員が講師

を務めることで、参加者の施設理解や今後のボランティア活動にも繋げることが出来た。職員自身も講義準備で自己研鑽を積み、専門性を追求することでスキルアップを図る良い機会となった。

## 8 成果とその普及

参加者からは「日常では体験できない事が経験できて良かったです。」「今まで参加した講座の中でもかなり良い体験ができたと思います。そして何より楽しかったです！自分の時間に余裕ができたらぜひ、ボランティアに参加したいと思います！」「山に入ってみて、新たに知ることやこれからボランティアするにあたって新たな知識等を得ることができた。」といった感想がみられ、主催者側が意図していたねらいを達成できたと感じるとともに、今後のボランティア活動での活躍が期待される。

## 9 今後の課題

参加者が9名と少なかった。今年度は新型コロナウイルスの関係で、前期のHow To ボランティアの日程が変更になったことも含め、計画的に参加者の確保を行う必要があると感じた。前述の課題も含め、当所のボランティアセミナー(How To ボランティア)にNEALを組み込んでいくかどうかを来年度への検討事項としたい。



自然体験活動の特質



対象者理解



自然体験の技術